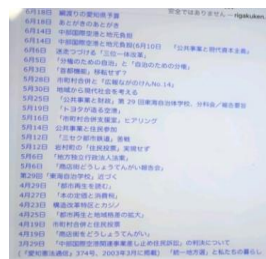


## 「山田明レポート集」20年

写真は見えにくいですが、「山田明レポート集」のはじまりである。2003年3月29日、「中部国際空港関連事業差し止め住民訴訟」判決についてのレポートが掲載されている。3月24日、名古屋地裁で住民訴訟に対して原告敗訴の判決が下された。法廷の前列中央で傍聴してレポートを書いた。前年の9月11日には、原告側証人として出廷して、裁判長や弁護士から質問に答えるかたちで50分余り証言した。私にとって忘れられない「9・11」である。



このレポートの前に、『愛知憲法通信』374号、03年3月に寄稿した「統一地方選」と私たちの暮らしと題した拙稿を掲載している。最後だけ紹介する。「統一地方選にあたり有権者も目先のことばかりでなく、中長期的かつマクロな視野から政党や候補者を選択していく必要がある。なによりも、多数の有権者が投票所に足を運ぶことが大切であり、そのためにも豊富でわかりやすい情報の提供が欠かせない。」

こうして「レポート集」のはじまりを振り返ったのは、あれから20年になるからだ。この頃は断続的にレポートを書いていた。テーマも旅やまちづくり、政治と行財政など雑多であった。04年から05年に大学の学部長・研究科長をつとめたので、大学についてのレポートも増えていった。10年8月30日の「公開ゼミ」写真で、なぜかレポートが途切れている。再開レポートは14年7月30日だ。「レポート疲れ」なのか、空白の4年である。この間、東日本大震災・福島第一原発事故があり、私の入院や退職などが続いていた。今から考えると、この間のレポートがないのが残念でたまらない。

14年3月末で名古屋市立大学を定年退職した。その4ヶ月後の7月30日に「ほんとうに久しぶりのレポート」を書いている。こうしてレポートを書いて発信するのは、4年ぶりになる。4年前の暑い夏の「オープンキャンパス」のレポートを読むと、「現役ばりばり」の頃の様子が懐かしく思い出される。この間、なぜレポートを書かなかったのか、それを書こうとすると「言いわけ」になってしまうので、とにかく「現在」から書いていこう。この4年余りについても、随時レポートしていきたい、と綴っている。

それから毎日欠かさずレポートを書いてきた。フェイスブックにも投稿するようになり、卒業生など「読者」も増えてきた。私にとっても過去を振り返り、「備忘録」「研究ノート」としても役立っている。

この20年間、私が毎朝送るレポートをネットにアップしてもらっている知人に感謝したい。できるだけ長くレポートを書き続け、情報発信していきたい。

(2023年3月1日)